

HABIKINO CITY TOPICS

『お金じゃ買えない ころの健康』

3月17日(日)、LIC はびきので、メディアタレントで医学ジャーナリストでもある、立原啓裕さんをお招きし、自殺予防についての講演会を実施しました。社会問題として大きく取り上げられている、自殺を防止するための大切な講義となりました。



百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産 登録推進本部会議

3月25日(月)、第4回目となった世界文化遺産登録推進本部会議が開催され、事業報告や計画、登録までの工程などについて審議されました。北川市長は「本市の市民団体は積極的に活動をしていただいている。これらの活動も含め、地元から機運醸成を図ることが重要である」と熱く語られました。平成27年度登録に向けて、勝負の年となる今年度。今まで以上に地元をはじめ、大阪府内から日本全国へPRを行い、機運醸成に努めてまいります。



「人権の花」運動の実施校へ感謝状



人権啓発活動堺・南大阪地域ネットワーク協議会主催の「人権の花」運動において、平成24年度実施校の恵我之荘小学校と西浦東小学校に感謝状と記念品が贈呈されました。「人権の花」運動は、チューリップの球根を協力し合って育てることを通じて、協力、感謝することの大切さを学び、生命の尊さを実感する中で、人権尊重思想を育み、より豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的として実施しています。



竹内街道 1400年「キックオフイベント」

3月30日(土)、今年で敷設1400年を迎える日本最古の官道「竹内街道・横大路」を記念とする、キックオフイベントが開催されました。当日は230人の方が沿道の市町村長、ご当地キャラたちとともに「1400年記念列車(近鉄電車)」に乗り込み、ミニゲームを行いながら、阿部野橋駅から飛鳥駅までの列車の旅を楽しみました。終点の飛鳥駅では「1400年活性化プロジェクト共同宣言」が行われ、その後は、絶好のお花見日和のもと、約4キロのロマンウォークで石舞台古墳などを巡りました。今後様々な竹内街道1400年PRイベントを開催していきます。



「春の交通安全市民大会」

4月3日(水)、市民会館において開催されました「春の交通安全市民大会」には、羽曳野と藤井寺の両市、羽曳野警察署、交通安全協会などの多数関係団体が参加。「交通事故ゼロ運動」で優秀な成績を収めた古市南小学校、古市小学校と丹比地区、古市南地区の地域に対して表彰状が贈られました。また、市民が「安心・安全・快適」に暮らせる街づくりの実現に向け、「交通安全宣言」を丹比幼稚園の保護者と園児が宣言(右写真)。満場一致で採決されました。



お花見会の開催(古市)

4月7日(日)、古市6町ふれあい実行委員会の主催で、70歳以上を対象に地域のお花見会が開催されました。

当日の雨のため、会場は菘の辻会館に移されましたが、およそ180人で盛り上がりました。催しは食事や茶話会のほか、「落語」や「花笠音頭・北海ソーラン節」などが披露されました。



通法寺跡で「桜のお花見」と「軽トラ市」

4月7日(日)、通法寺跡で初となる「お花見(桜)軽トラ市」が開催されました。当日は日本海などで発達した低気圧の影響で、あいにくの雨風に見舞われ、大半の桜が散っている状況。しかし、通法寺の方々が丹精込めてつくった、「源氏鍋(豚汁)」で500人の参加者を出迎え、少し冷えた体を温めることができました。また、会場は20店の出店で賑わい、ワインや黒ニンニク、新鮮な



野菜などを販売。特設舞台では地元の方々が大正琴を演奏され、美しい音色に心を奪われました。同時開催の上ノ太子駅から会場まで歩く、「お花見ウォーク」で

は、壺井八幡宮や源氏3代の墓などを巡りました。「来年は桜満開の下で開催できればいいなあ」と多くの方が話しかけてくれました。



羽曳野全体を大きなセーフティネットに

3月23日(土)、市民会館で『痛みに寄り添う』をテーマにした講演やインド古典舞踊、関西大学の宮本要太郎教授がコーディネーターを務めたパネル討議が、「支縁のまち羽曳野希望館」の主催で開催されました。地域で孤立している方などを、どのように支え合うまちづくりが必要なのかを、学習する良い機会となりました。



地元カフェオープン♪飲みに来てや!

4月6日(土)、オリジナルの募金箱にワンコインを投入すれば、コーヒーや紅茶が飲めるカフェ、ささえあいネット野々上東がオープンしました。同カフェのマスターは地元の区長や副区長が週替わりで務めます。この日マスターを務めた泉尾 佳男さんは「自宅で膝を突き合わせて、地域の方の相談を受けるよりも、カフェのほうが気軽に自然と心が開くのでは」とお話をいただきました。また、図書なども豊富で読み放題。同カフェの営業は土・日で11:00～16:00。お子様用にパックジュースも用意。



野々上2-2-6

「羽曳野ロータリークラブ創立40周年」LIC はびきのに大型モニタを寄贈

4月8日(月)、LICはびきのにて、マルチディスプレイ(LIC VISION)の贈呈式が行われました。モニタは90インチと大型で、LEDバックライトにより、鮮明な映像がご覧いただけます。同クラブの山本正明会長は「わかりやすい情報ツールとしてご活用いただければ」と話し、「お子様や高齢者の方へ、防災や教育など、多様な情報伝達の中核になってほしい」と期待されていました。



おめでとうございます!

羽曳野市エイフボランティアネットワーク前会長の松田 明子さんが、日本公衆衛生協会の会長表彰を受賞した報告にお越しくございました。健康づくりの意識啓発活動などの永年の功績が認められ、3月22日(金)に表彰状が贈られました。



や た ひなた 高鷲
矢田 陽ちゃん
平成24年3月3日生まれ
ひなたんのお陰でパパとママは毎日幸せです。
母親の彩さん撮影



さかもと はな 軽里
阪本 花ちゃん
平成23年11月22日生まれ
いつも明るく元気な花になれ!
母親の亜希さん撮影



まき ゆづき 西浦
牧 優月ちゃん
平成23年1月1日生まれ
いつもおちゃめな優月に元気をもらっています。ありがとう!
祖母の礼子さん撮影

こんにちは
あかちゃん